

**中国圏広域地方計画に関する
プロジェクト検討参考資料
(プロジェクト骨子及び説明図表)**

平成21年3月27日

中国圏広域地方計画協議会幹事会資料

目 次

プロジェクト検討参考資料

プロジェクト骨子

ものづくり産業のリノベーション促進プロジェクト.....	1
臨海部産業支援のための国際物流機能強化プロジェクト.....	3
日本海沿岸における北東アジアゲートウェイプロジェクト.....	4
基幹的交通・情報通信ネットワーク整備プロジェクト.....	5
里地・里山・里海保全と農林水産業再生プロジェクト.....	6
地場産業を創出する地域資源活用プロジェクト.....	8
高齢化の進む中山間地域・島しょ部の暮らし安心プロジェクト.....	9
中国圏の未利用資源を活用した低炭素・循環型地域づくりプロジェクト.....	11
瀬戸内海の保全・活用プロジェクト.....	13
中国圏まるごと観光推進プロジェクト.....	15
東アジア等との国際交流推進プロジェクト.....	17
分散型地域構造に応じた集約型都市整備プロジェクト.....	19
中国圏のサービス産業育成プロジェクト.....	20
美しく強靱な中国圏域づくりプロジェクト.....	21
中国圏の人づくりプロジェクト.....	23

説明図表

各プロジェクト説明図表.....	25
------------------	----

本資料は、広域地方計画に位置づけるプロジェクトに関する中国圏広域地方計画協議会構成機関による平成21年3月末時点での検討の概要を骨子及び説明図表として整理したものであり、今後これを基礎として、更なる検討を加え、プロジェクトに関する記述内容を中間整理に加えていくものである。

ものづくり産業のリノベーション促進プロジェクト

目的・コンセプト

中国圏の強みである加工組立型産業や基礎素材型産業等が、引き続き国際競争力を維持し、圏域の活力のけん引役として発展することを目指し、隣接圏域も含めた川上・川下企業の連携による基幹産業の競争力強化、コンビナートの運営機能の統合及びリノベーション、産業クラスター活動等の広域的連携、戦略的な企業誘致等の取組を行う。

具体的な取組内容

中国圏の基幹産業の共同開発等による競争力強化

- ・自動車関連産業において、次世代自動車技術の形成や、高機能樹脂、塑性加工技術等の高度化に関わる研究開発、人材育成を推進
- ・F P D関連の川上・川中・川下企業が連携した技術開発等を推進するとともに、鳥取県での他圏域も含めた産官学連携による研究開発や技術者育成を推進
- ・船体ブロックを輸送する瀬戸内海の内海運や本四架橋等、既存ストックの活用を促進し、中国圏・四国圏にまたがる世界最高水準のサプライチェーンを形成
- ・ものづくりの基盤技術を担う中小企業を対象に、技術開発に対する支援、専門家の派遣や研究会の開催等による技術力の底上げを推進
- ・ベンチャー企業や異分野への新事業展開を図る企業への資金調達や事業ステージに応じたサポート体制を強化し、企業の支援を推進
- ・因島技術センターの機能強化を図る等、産学官が連携した現場技術力の維持・強化を推進

瀬戸内海に集積するコンビナートの高度統合化及びリノベーション

- ・瀬戸内海沿岸に集積するコンビナートの競争力強化のため、運営機能の統合及びリノベーションに向けた取組の促進
- ・バルクターミナルを効率的に運用する「臨海部産業エリア」の形成に向けたターミナルの長期一体貸付の促進

産業クラスター活動の広域的連携による次世代産業の創出等の促進

- ・「中国地域産学官コラボレーション会議」等の枠組みを活かした産学官連携推進体制の整備や会議等を通じた関係機関相互の交流を促進
- ・次世代中核産業形成プロジェクト及び循環・環境型社会形成プロジェクトを発展させた、競争力を有する産業の創出・検討・推進
- ・四国圏との経済的結びつきの強化やビジネスチャンスの増大を図る「ビジネスフェア中四国」、「中国四国地域アグリビジネス創出フェア」を連携して推進

戦略的な企業誘致と産業連携を支援する基盤の整備

- ・誘致活動、事務所開設への支援を行うことにより外資系企業の誘致を促進
- ・企業の立地ニーズに対応した産業団地や工業用水の安定供給に資する特定多目的ダム整備の推進
- ・圏域内外の産業連携を支える高規格幹線道路ネットワークや産業港湾等の物流基盤の整備を推進

臨海部産業支援のための国際物流機能強化プロジェクト

目的・コンセプト

基礎素材型産業におけるバルク貨物の輸送コスト低減を目指すとともに、東アジア諸国に近接する中国圏の地理的な優位性を活かし、国際競争力を強化するため、産業港湾の再生・機能強化、航空物流の機能強化、シームレスな貨物輸送ネットワークの構築を図るとともに、物流用地等の確保や土地利用の高度化を図り、国際的な競争力を有する物流基盤の整備を行う。

具体的な取組内容

基礎素材型産業を支える産業港湾の再生・機能強化

- ・バルク貨物の効率輸送に資する港湾整備を推進
- ・大型バルク貨物輸送船の入港が可能な大水深国際バルクターミナルの拠点整備を推進
- ・大型船入港に対応するため、航路の拡幅・増深を推進

シームレスな貨物輸送の実現

- ・東アジアを中心とした国際コンテナ貨物のダイレクト輸送等、コンテナ貨物の効率輸送のため、港湾整備を推進
- ・「緩やかなグループ化」を通じた経営基盤の強化等により、スーパー中枢港湾と他圏域も含めた港湾の連携強化を図る内航フィーダー輸送体制を確立
- ・東アジアをはじめとした海外へのシームレスな国際物流基幹ネットワークの確立に向け、港湾、空港へのアクセス道路の整備を推進
- ・国際標準コンテナ車の通行支障区間の解消のための幹線道路の整備を推進
- ・国際航空貨物輸送力を強化するため、ペリー貨物の増大や貨物チャーター便の運行を促進

臨海部の土地利用の高度化

- ・環境保全や再生にも配慮した上で、官民協力による臨海部における事業用地や物流用地等を確保するため、廃棄物埋立護岸整備等を推進
- ・臨海部遊休地の有効活用を推進するため、土地情報の提供や臨海部用地の分譲を促進

日本海沿岸における北東アジアゲートウェイプロジェクト

目的・コンセプト

日本海沿岸地域と経済的発展が期待される北東アジア地域との地理的近接性や密接な交流の歴史的背景を活かし、官民の連携による経済・文化交流の深化を図るとともに、交通基盤の整備、定期航路等の維持・充実、拠点都市機能の整備・集積による中国圏の玄関口としてのゲートウェイ機能強化を図る。

具体的な取組内容

北東アジア地域との交流の促進

- ・ 地方政府レベルの国際交流を推進し、ゲートウェイとしての知名度向上を図る
- ・ 北東アジアにおける見本市への出展支援や、現地での物産展、商談会の開催等により民間の貿易・経済交流を促進
- ・ 北東アジア地域の伝統文化、芸能団体を招致し、民間の親善交流・文化交流を推進
- ・ 北東アジア地域の大学・研究機関との学術・研究交流や北東アジア研究を推進

北東アジア交流を支える交通基盤の強化

- ・ 経済交流や貿易を支える国際路線及び定期航路の維持・充実
- ・ 交通・物流拠点となる港湾・空港と圏域内外の各地域を連絡する高規格幹線道路ネットワーク整備を推進
- ・ 国際標準コンテナ車の通行支障区間の解消の推進

日本海側における拠点都市機能の強化

- ・ 自立した拠点都市圏の形成に向けた官民による広域連携を強化
- ・ 国際・広域交流の拠点性確保に向け、国際交流拠点施設を活用した国際的なイベントや会議を随時開催
- ・ 土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図る市街地再開発や快適で安全な、賑わいと活力のある市街地の形成を図る中心市街地活性化等を推進

基幹的交通・情報通信ネットワーク整備プロジェクト

目的・コンセプト

分散型の地域構造を活かして、産業の国際競争力強化、広域的な連携による観光の振興、都市と中山間地域の交流・連携等や、国内外との交流・連携を促進するため、総合交通体系の構築やシームレスなネットワーク形成の視点に立った交通ネットワークの整備・充実を図る。また、産業・生活活動や、中山間地域等の交流・連携を支える情報通信ネットワークを整備する。

具体的な取組内容

広域的な幹線道路ネットワークの整備と利活用

- ・高規格幹線道路や地域高規格道路等の山陰と山陽の連絡および山陰を東西に連絡する広域的な幹線道路ネットワークの整備の推進
- ・スマートインターチェンジの設置・利用の促進等により、基幹ネットワークの機能を確保
- ・各空港・港湾へのアクセス向上を推進
- ・「瀬戸内海しまなみ海道振興協議会」、「瀬戸大橋利用促進共同事業実行委員会」等他圏域と連携し、高速道路の利用促進に向けた取組を推進

広域的な公共交通ネットワークの充実

- ・各空港の国内航空路線の利用促進に向け、航空路線の拡充等の取組を推進
- ・ユニバーサル社会に対応したフェリーターミナルの整備や、半島・島しょ地域等の産業・生活を支える地方港湾の整備を推進

暮らしの多様化に対応した情報通信ネットワークの整備

- ・条件不利地域においてブロードバンド・ゼロ地域の解消や携帯電話の不感地帯の解消を推進
- ・地上放送のデジタル化への対応を完了し、引き続き、テレビを視聴することができるよう、多くの関係者の連携・協力のもと、総合対策を推進
- ・各県の公共情報通信ネットワークの整備・活用を図るとともに、市町村を含めた電子自治体化を推進

里地・里山・里海保全と農林水産業再生プロジェクト

目的・コンセプト

中山間地域等の主産業ともいえる農林水産業の持続的発展のため、地域の実情に即した担い手の育成やUJ Iターン等の新規就業の支援、生産・流通基盤の整備や維持保全、農林水産業と製造業・商業・サービス業の一体的な支援による売れる農林水産物・加工品づくりやブランドの形成を図るほか、地産地消を推進する。また、農林水産業そのものを活用した農山漁村体験、グリーンツーリズム等による都市との交流促進や農林水産資源を利活用したバイオマスエネルギー等、新たな産業育成を図る。さらに、中山間地域等の多面的機能の維持・保全・再生を図る。

具体的な取組内容

過疎・高齢化の進行等に対応した担い手の育成・確保

- ・農業生産法人、集落営農組織の設立や認定農業者への支援による地域の実情に即した担い手の育成・確保を実施するとともに、農用地の利用集積を図る
- ・農業への参入希望企業に対する情報提供、農地利用調整活動や農地の条件整備、施設整備等の支援を行い、農業外企業等の農業参入を促進
- ・就業希望者に対する地域の関連情報の提供・相談、体験機会の提供、農林漁業研修等の実施により新たな担い手確保を推進
- ・専門高校での現場実習や実践的指導等の地域の技術習得ニーズに対応した独自の人材育成を推進

生産性向上に資する生産基盤の整備と経営高度化

- ・地域農業の持続的発展と経営の安定等を図るため、農地・農業用排水路及びため池等の整備により生産基盤の整備を推進し、優良農地を確保
- ・施設のストックを効率的に保全・更新しライフサイクルコストの低減を図るとともに、農地・農業水利施設の保全管理のため必要なデータベース整備を推進
- ・稲作を基本としつつ付加価値の高い園芸や畜産等を取り入れた農業構造への転換により、集落法人等の経営の高度化を促進
- ・森林の団地化や施業の集約化・効率化、高密度の林道網整備や高性能林業機械の導入を支援
- ・国産材の有効利用に資する、曲材や低質材を含めた集出荷体制の整備や林地から製材市場等に至る合意形成による木材価格の安定化・需要拡大を促進
- ・水産資源の生産力向上のため、瀬戸内海における藻場・干潟造成等の環境保全技術の研究開発や漁場環境の改善を多様な主体により推進

売れる農林水産物・加工品づくり

- ・直売所等の環境整備、地元産食材を使った飲食店の認定やイベントの開催等に

よる地産地消の取組を推進

- ・生産段階におけるGAP(農業生産管理手法)流通段階における食品トレーサビリティの取組等を推進
- ・科学的解析を利用した品質の数値化等の安全・安心のニーズに対応した品質管理の認定制度の整備やシンボルマークの商標登録等、地域ブランド形成を推進
- ・農林水産業と商工業等におけるニーズ・シーズのマッチング支援等により、加工技術や高付加価値食品等の開発、販路開拓を推進
- ・海外主要都市における情報発信や、販売促進を図る物産展・展示会の開催・参加により農林水産物等の輸出を促進

農山漁村の地域資源を活用した交流及び新たな産業振興の促進

- ・農山漁村体験、子供達の教育旅行、朝市めぐり等、体験型・滞在型ツーリズムにより都市部からの集客を促進
- ・地域に豊富に存在する木質バイオマスなどの資源利活用システムを構築するバイオマスタウン構想策定及び構想に基づく施設整備を推進

森林・里山・農地の多面的機能の維持・保全・再生

- ・中山間地域等直接支払制度で中山間地域等の農業生産条件の不利性を補正し、農業生産活動の継続を通じて食料供給機能や多面的機能の維持・増進を図る
- ・農地や農業用水路などの地域の資源や環境を守り、より一層の質の向上を図るための取組として農地・水・環境保全向上対策を推進
- ・耕作放棄地解消に向けて、農地としての利用を基本に営農再開に向けた取組への支援や資源作物の導入等の取組を推進
- ・企業の社会貢献活動の誘導・支援や、森林環境税等の活用により、森林や農地をはじめとする中山間地域等の持つ公益的機能の保全を推進

地場産業を創出する地域資源活用プロジェクト

目的・コンセプト

中山間地域等を中心とした地域経済の持続性を維持するため、産地の技術、観光資源等、中国圏固有の優位性のある地域資源を活用した新商品・新サービスの開発・市場化を総合的に支援し、地域産業の核となる新事業の創出を図る。

具体的な取組内容

地域が一体となった推進・支援体制の整備

- ・ 真庭地域における、木質資源を活用した事業化に向けた、事業推進の主体となる組織・体制・人材の整備及び育成を支援
- ・ 地域資源を活用した新商品・新事業の研究開発の初期段階の取組に対して、基金組成等により円滑な支援を推進

産学官連携や商業・サービス業の専門家を活用した新商品・新事業開発支援

- ・ 地元資源を活用した機能性食品産業化等、各地の産学官組織との有機的な連携のもと、ものづくり産業等企業との連携による新製品・新事業開発を促進
- ・ 海産物におけるマーケティング等、専門家の支援による効果的な商品開発を促進
- ・ 観光支援プロデューサーによる観光事業者のノウハウ支援や、研修会の実施等、質の高い観光商品の開発を促進

地域資源をまとめた効果的なブランド形成と販売促進

- ・ 各地域産品の関係企業や団体の連携により、地域資源をまとめたブランド化を推進
- ・ 地域団体商標制度を活用して、地域の特産品等に産地の地域名を付した商標の出願・権利化を推進
- ・ 首都圏等において、地域ブランドの認知度向上・販売強化を図るため、共同オフィスにおける販売促進活動や商談会の開催等を推進
- ・ 地域材を活用した木造住宅の振興や県産木材の利用を促進

高齢化の進む中山間地域・島しょ部の暮らし安心プロジェクト

目的・コンセプト

中国圏では全国に先行して人口減少・高齢化が進んでおり、小規模な集落が広く分布する中山間地域等では、集落機能の低下が進展している。このことから、都市が適度に分散した地域構造を踏まえつつ、集落における生活者の商業・医療・福祉等の基礎的な生活サービスの利便性を向上させるため、ワンストップ型の生活拠点の整備の推進、集落の実情に応じた交通機能の確保等、拠点や集落のネットワーク化を進める。また、暮らしを支える生活基盤の充実や、共助の仕組みづくりを通じた集落コミュニティの強化・再構築を図るとともに、都市住民のふるさと回帰を促進する。中山間地域等については、生活・産業の両面から取り組むことが重要であることから、「里地・里山・里海保全と農林水産業再生プロジェクト」と連携してプロジェクトを推進する。

具体的な取組内容

中山間地域等を支える一次生活拠点機能の充実

- ・診療所等の生活サービス機能や行政施設を一体化・集約化するワンストップ拠点の構築を推進
- ・市町村単位を超えた自治体間の機能分担や連携により生活サービス機能を充実
- ・多数の集落を総合的に支援・マネジメントし、集落機能維持と一次拠点機能を補完する、集落支援員や地域マネージャーの活用等の支援組織の構築を推進

医療・福祉ネットワークの充実

- ・へき地診療所への医師派遣、研修の実施、へき地医療拠点病院と診療所の連携体制の構築等、総合的な地域医療支援を推進
- ・ドクターヘリの導入等による救急医療の充実
- ・医療と介護・福祉との連携強化等、地域包括ケアシステムを充実するため、ケアマネジメントを担う中核機関である地域包括支援センターの機能を強化

地域の実情に応じた交通機能の確保と情報通信環境の充実

- ・コミュニティバスや乗合タクシーの導入・再編、離島航路の維持等、地域のニーズに応じた公共交通の活性化・再生の取組を促進
- ・衛星通信技術や民間通信事業者の活用等により、山間地等条件不利地域における、ブロードバンド・ゼロ地域の解消等の情報通信環境の充実を推進
- ・高齢化に対応したターミナル整備による離島航路の維持・充実
- ・活力ある地域づくりを進めるため、日常生活に密着した道路の整備を推進

集落コミュニティの強化・再構築による共助の仕組みづくり

- ・集落型NPOの構築や複数の集落で地域自治活動を行う住民組織の設置による

集落コミュニティの再構築や大学生の里山レンジャーによる地域住民と外部住民の協働による地域づくり活動を促進

- ・地域住民や地域企業等が主体となった独居老人等の見守りネットワークを構築するため、地域住民への見守り活動の周知及び体制整備

都市住民のふるさと回帰と二地域居住

- ・大都市圏等で大量退職を迎える団塊の世代等に対して、中国圏の田舎暮らしの魅力をPRするための情報発信ツールの整備を推進
- ・都市部へのアクセスの良さや中国地方の多様な自然や風土を生かした空家対策事業の推進や交流・体験モデルツアー等の交流・定住促進の推進

5 県連携による中山間地域等の暮らし安心向上を目指した調査研究の推進

- ・「島根県中山間地域研究センター」を事務局とした中国地方中山間地域振興協議会において、地域運営プログラムの開発等、現行研究テーマの発展を中心に実践的な研究等を推進
- ・土地所有の不在化に関する状況調査を推進するとともに、産業活動及び環境共生を見据えた土地有効活用のための共同管理手法等の検討を推進

中国圏の未利用資源を活用した低炭素・循環型地域づくりプロジェクト

目的・コンセプト

中国圏のポテンシャルを活かし、地球温暖化対策としての温室効果ガスの削減を一層推進するため、森林資源等を活用した新エネルギーの導入やコンビナート等の産業特性を活かしたエネルギー利用を推進するほか、原子力発電について安全性を確保しつつ推進するなどエネルギー源の多様化・分散化を図る。また、省エネルギーを推進し、環境負荷の小さい都市・地域構造の実現に向けた取組を推進し、低炭素・循環型の地域づくりを目指す。

具体的な取組内容

自然・産業資源等の活用によるエネルギー源の多様化・分散化の推進

- ・山陰沿岸等の風況を生かした風力発電や日照時間の長い瀬戸内海側等での太陽光発電の推進
- ・発電用施設の周辺地域における公共施設の整備、産業振興及び住民の安全性・利便性向上を図ることで、円滑な原子力発電等の立地を推進
- ・廃食用油によるバイオディーゼル燃料の製造や木質バイオマスによる発電等のバイオマスの有効活用を市民・事業者・行政が一体となって推進
- ・「産業技術総合研究所バイオマス研究センター」等の先進的なバイオマス研究機関の集積を活かし、研究開発、バイオマス利用の実証実験を推進
- ・コンビナートにおける石油精製等の副生水素の供給ポテンシャルを生かして、近畿や九州等とも連携を取りながら水素インフラ整備等の取組を促進

基礎素材産業を活用したリサイクル産業化による資源の有効活用

- ・瀬戸内海沿岸の基礎素材産業をリサイクル拠点として活用するために、瀬戸内静脈物流による広域リサイクルシステムを構築

環境負荷低減型の地域づくり

- ・市民・事業者・行政が一体となってゴミの発生を抑制する取組や環境に対する意識の啓発等、ゼロエミッションに向けた取組を推進
- ・公共交通利用促進等モビリティマネジメントを推進
- ・荷主や物流団体・行政機関等で構成する「中国グリーン物流パートナーシップ会議」を通じたモーダルシフト等グリーン物流の推進
- ・多様な関係者との連携による広島市中心部における共同輸配送等都市内物流の効率化を推進
- ・EV車普及促進対策として、充電インフラ等の環境整備をはじめ、EV車導入誘導支援を推進

低炭素・循環型社会に向けた調査・研究の推進

- ・カーボンオフセットを組み込んだツアーやイベントの開催や、ポテンシャルを生かした圏域内CO₂排出権取引の試行的な実施

瀬戸内海の保全・活用プロジェクト

目的・コンセプト

瀬戸内海を基軸とした近畿・四国・九州圏との広域連携を強化し、失われた干潟、藻場の再生や災害等により荒廃した山の修復等の環境創造を行う。また、瀬戸内海の景観、歴史、文化、食、街並み等を活用して国際観光にも資する魅力発信や瀬戸内海ブランドの構築を行うとともに、地形の制約等により不利な条件に置かれている離島地域等の振興を図る。さらに、地震、津波に対応した瀬戸内海を活用した防災ネットワークの整備を推進する。

具体的な取組内容

瀬戸内海の魅力を守り、伝える体制の強化

- ・瀬戸内海沿岸域の全自治体の参加を目指し「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」の活動を推進
- ・瀬戸内海を「里海」として再生していくため、「瀬戸内海里海委員会」等の新たな広域的な連携体制を形成
- ・「広島湾再生推進会議」を中心とした取組をPRし、地域住民の積極的な参加を促し、多様な主体の連携・協力体制を強化

協働による瀬戸内海の環境保全と創造

- ・「瀬戸内海海ごみ対策検討会」による漂流・漂着・海底ごみの広域的な処理の検討及び事業の実施
- ・「リフレッシュ瀬戸内」活動等、住民等多様な主体との協働による河川流域及び海域や自然公園を含めた環境美化・清掃活動の実施
- ・瀬戸内海の環境保全・創造や水産資源の維持・管理に関する調査研究を瀬戸内海沿岸各県の研究機関等の共同により推進
- ・「瀬戸内海環境修復計画」に基づき、多様な主体の参加・協働により、干潟・藻場の保全・再生を推進
- ・瀬戸内海の景観保全に向けた景観計画の策定の推進

瀬戸内海の交流促進とブランドの構築

- ・「みなとオアシス」制度の活用を促進し、イベントや各種情報発信を共同で行うことで地域間の交流を促進
- ・瀬戸内海クルーズ観光や瀬戸内海スローツーリズムを振興するため、東アジア地域等の旅行会社やメディアを対象に体験・視察ツアーを実施
- ・伝統芸能や現代アートを通じて瀬戸の島々をネットワーク化する「瀬戸内国際芸術祭」等の新たな瀬戸内海ブランドを構築するため、多様な主体の連携による情報発信を推進

瀬戸内海の魅力を活かす離島地域等の振興

- ・ 笠岡諸島の離島ツアーや島暮らし体験、「瀬戸内しまなみ大学」の体験学習等を通じて、二地域居住やUJターンにもつながる都市住民等との交流を促進
- ・ 県境・ブロックを越えた広域連携により水道・電力、救急医療、ブロードバンド環境等の生活・情報通信基盤の維持・整備を推進
- ・ 旅客ターミナルの整備や情報提供施設の整備により魅力ある総合的な港づくりによって地域活性化を促進

瀬戸内海を活用した防災ネットワークの整備

- ・ 防災ネットワークを形成する緊急物資輸送拠点となる耐震岸壁の整備を推進
- ・ 東南海・南海地震やそれにともなう津波に対応するため、防災拠点施設の整備・強化を推進
- ・ 海象データの収集や海岸保全施設の遠隔操作等を一元的に管理することで防災機能の強化を図る高潮防災ステーションを整備

中国圏まるごと観光推進プロジェクト

目的・コンセプト

中国圏が一体となった広域的な連携による観光振興の推進と圏域のアイデンティティと一体感を醸成するため、中国圏ならではの魅力を活かした観光ルート・メニューの充実、東アジア地域等からの誘客を重点対象とした国際競争力のある新たな観光商品の開発、海外へ向けた広告宣伝、情報発信や、国際会議等の誘致・開催、受入体制の充実強化を図る。また、世界文化遺産に代表される個性と魅力ある歴史・文化の保護・継承と創造により、地域の個性・魅力と誇り・愛着をさらに高める。

具体的な取組内容

魅力ある観光地の形成とネットワーク化

- ・「中国地域観光推進協議会」等を中心に、他圏域も含む広域観光ルートの創造や誘客促進等の共同事業を推進
- ・魅力ある観光ルート・メニューの形成に向けて、世界遺産等の文化遺産の活用や、国立・国定公園、国営公園等の観光拠点の整備を推進
- ・「山陰文化観光圏協議会」、「広島・宮島・岩国地域観光圏推進協議会」等の活動を通じて、観光圏の整備を推進
- ・新しい形態の旅行商品の創出と流通の促進を図るため、「中国地域産業観光推進会議」等の取組によるスロートゥーリズム等のニューツーリズムの振興を推進
- ・「まち歩き中国ナビ」等による、中国圏が一体となった情報発信を推進

東アジア地域を中心とした外国人観光旅客の来訪の促進

- ・「中国地方国際観光ビジネスフォーラム」や、外航船を含むクルーズ客船の寄港促進、空港連携による国際旅客チャーター便の拡充を他圏域とも連携し推進
- ・国際観光等の振興に向けて、国際会議等の誘致・開催を促進
- ・ホスピタリティの向上に向け、外国人観光旅客受入体制の充実を図る訪日外国人受入接遇研修等の取組を推進

魅力ある歴史・文化の保護・継承・創造

- ・原爆ドーム、厳島神社、石見銀山の三つの世界遺産に加え、新たな世界遺産登録を目指した調査・保存を推進
- ・中国圏の神話、古代文化や神楽等の魅力ある歴史・文化資源の調査・研究及び展示会やシンポジウム等の情報発信によるブランド化を推進
- ・鳥取・島根両県と市町村と連携した「史跡整備ネットワーク会議」の取組等、歴史・文化資源の発掘とともにネットワーク化した情報の発信を推進
- ・城跡・古墳・歴史的建造物等の歴史的に重要な施設の復元や失われつつある歴史的な環境の維持・向上を図るまちづくりを推進

- ・各地域の個性的な美術館等を広域的にネットワーク化する美術館回廊構想等を推進

東アジア等との国際交流推進プロジェクト

目的・コンセプト

東アジアとの広域ブロックにおける人的交流のゲートウェイを形成するため、近畿圏・九州圏等との機能連携を図りつつ、港湾や空港の機能の強化や高速交通基盤の整備、充実を図る。また、世界との経済・文化等における人的交流、平和・医療支援・災害復興・環境・人材育成等の分野で国際貢献の拡大を推進する。

具体的な取組内容

人的交流のゲートウェイ形成に向けた国際交通機能の強化

- ・ 広島空港、岡山空港、米子空港において、国際航空路線の拡充・充実やC I Q体制の充実、アクセス交通の強化を推進
- ・ 下関港、広島港等において釜山航路等の国際フェリー・貨客航路を拡充

官民が一体となった経済・文化国際交流の推進

- ・ 「日韓海峡沿岸県市道交流知事会議」の事業をはじめ、各自治体が進めている韓国・中国等の東アジアを中心とした姉妹友好提携等による交流を推進
- ・ 「東アジア経済交流推進機構」等、各地域において官民が一体となった国際経済交流を推進
- ・ 東アジア地域との国際見本市・商談会の開催・参加を通じて、地理的近接性や密接な交流の歴史の深化を図る
- ・ 「広島国際アニメーションフェスティバル」や「世界スカウトジャンボリー」等の国際イベントを開催・誘致
- ・ 在外県人会との交流、外国人留学生のネットワーク形成や関係主体の連携による情報拠点機能の充実等により国際交流ネットワークづくりを推進

中国圏における多文化共生社会の構築

- ・ 外国人受け入れ環境の整備に向け、外国人居住者を対象とする調査・研究や情報発信を推進
- ・ 中華人民共和国やブラジル連邦共和国等の総領事館等の誘致を促進

世界平和等の国際貢献の推進

- ・ 「平和市長会議」の活動を通じた核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた取組の推進
- ・ 「放射線被曝者医療国際協力推進協議会」等による国際医療協力の推進等により、世界の平和と安定に貢献
- ・ 国際救援物資の備蓄や海外の災害等へのNGO等と連携した復旧・復興支援を推進
- ・ 海外友好都市からの研修生受入等による環境保全協力を推進

- ・国際協力専門人材の育成、発展途上国等の人材育成支援を「国連訓練調査研究所広島事務所」、「公設国際貢献大学校」や「ひろしま国際プラザ」を通じ実施

分散型地域構造に応じた集約型都市整備プロジェクト

目的・コンセプト

都市が多様な自然に近接し、適度な密度で分散している地域特性を活かした都市の生活スタイルを確立するため、中心市街地における既存ストックを活用した市街地整備や、地域資源を活用したまちづくりを推進するとともに、地域特性に応じた施設整備による快適な生活環境の形成を図る。

具体的な取組内容

自立的発展の拠点となる中枢中核都市の整備

- ・ 中枢中核都市においては、高次都市機能の集積を図るため、低・未利用地等の活用や既存市街地の再生による拠点整備を推進
- ・ 集約型都市構造に向けて、都心居住の実現、鉄道駅等の交通結節点の整備や公共交通システムの高度化を推進
- ・ 鉄道駅等の旅客施設にエレベータ設置を始めとした段差解消や低床バス車両代替や福祉タクシー車両導入等を促進

生活圏の中心となる中小都市の整備

- ・ 基礎的な医療、福祉、教育、文化、消費等の日常生活に必要な生活関連サービスの維持・充実を図るため、中心市街地における街なか居住や病院、福祉施設、学校等の公共・公益施設の街なか立地を推進
- ・ 都市機能の回復を図るため、道路等の公共施設整備や老朽建築物の除却と共同建替、公営住宅等の整備等を行うとともに、統一感のある街なみ整備を推進
- ・ ゾーンバスシステム、交通結節点整備、循環バスの導入等、オムニバスタウン計画によるバスを活用したまちづくり構想の推進

既存ストックを生かした都市再生

- ・ 既成市街地を地域内外の人々にとって魅力ある地域として再生するため、既存ストックや空閑地を利活用した修復型の都市再生を推進

中国圏のサービス産業育成プロジェクト

目的・コンセプト

サービス産業の生産性の向上・イノベーションの促進やソフトウェアやデザイン、コンテンツ等の特徴あるサービス産業の集積強化を図るため、サービス産業の集積拠点の整備、企業間の連携・交流の促進、人材育成等を推進する。また、地域の関係主体が連携した生活支援サービス業の創出支援を行う。

具体的な取組内容

サービス産業の生産性向上・イノベーションの促進

- ・ものづくり産業が有する卓越した製造管理ノウハウの適用事例やICTの活用事例等を発掘し、普及を推進
- ・中国圏における映画やアニメーション等のコンテンツを活用した地域活性化の支援及びそれらのコンテンツ産業の育成を推進
- ・ICT技術開発プロジェクトのように、デジタルコンテンツ系の産業を創出するため、関係機器の開発・製造やコンテンツ制作人材育成を推進

産業支援サービス業の集積強化

- ・企業の競争力向上を支援する産業支援サービス業の集積拠点の形成を推進
- ・集積拠点に立地するサービス産業に対して重点的に起業・事業展開を支援
- ・地域振興の取組等と連携して、国際会議等の実施等について、全国に対する情報発信や企業間の交流・連携を促進
- ・他企業の作業現場での研修斡旋等、若手人材の確保・育成、人的ネットワークの形成機会を提供する取組を産学官連携により推進

生活支援サービス業の創出

- ・介護・福祉、まちづくり、子育て支援等、地域の社会的課題の解決を手掛けるコミュニティビジネスを支援するため、多様な主体から構成される協議会組織の活動を推進

美しく強靱な中国圏域づくりプロジェクト

目的・コンセプト

生活や経済活動におけるリスクマネジメントを進めつつ、多彩な自然環境の保全と再生を図るため、流域圏や沿岸域における災害対策、渇水対策や、都市型水害対策、防災拠点の強化を行うとともに、災害時の緊急輸送ネットワークの確立と強化、施設の老朽化対策等、既存の社会インフラの戦略的な維持管理を推進する。あわせて、情報通信技術を活用した防災体制の確立等の地域防災力の向上を図る。さらに、地球温暖化に伴う気候変動による災害激甚化等新たな課題への対応も進める。また、日本海の高潮対策、枯渇が懸念される海洋資源保護、黄砂等の大気汚染への対策等を進めるとともに、森林の水源涵養機能も含めた健全な水循環系の構築や閉鎖性水域の水質浄化、森林保全等、多様な主体の連携による国土管理を図る。

具体的な取組内容

治水・土砂・高潮・侵食対策の推進

- ・河川流域圏における総合的な治水対策や、河川改修、河川・海岸高潮対策及び海岸侵食対策の推進
- ・砂防や地すべり対策、急傾斜地崩壊対策、治山事業等土砂災害対策の推進
- ・山地から海岸までの一貫した総合的な土砂管理の取組を推進
- ・港湾や河川における放置艇対策として、ボートパークの整備を推進

社会資本・建築物等の耐震性強化

- ・都市部において密集市街地の整備・改善を推進
- ・高規格幹線道路や一般国道等の緊急輸送道路の橋梁耐震対策等、大規模災害時・緊急時に対応可能な社会資本の強化や建築物の耐震化による地震に強い地域づくりの推進
- ・ライフラインである水道において、緊急時連絡管等の整備による災害や事故に強い供給体制の構築

防災生活圏の強化

- ・隣接ブロックと連携した大規模な地震や津波等の広域災害が発生した際の応援・救援体制の維持・強化
- ・多様な手段を活用した情報通信システムの整備や防災情報システムのネットワーク化等の情報共有の推進
- ・浸水想定や土砂災害の区域指定に基づくハザードマップの作成や消防団・水防団と自主防災組織活動の連携、被災者に対する支援制度の充実等の推進
- ・災害に対し脆弱な市街地の防災性向上を図るため、市町の防災行政無線の整備等により都市の防災化を推進

- ・各港湾における事業継続計画の策定を促進するとともに、各港湾連携による事業継続計画の検討を促進
- ・港湾における耐震強化岸壁等防災拠点施設の整備・強化の推進
- ・河川防災ステーションや道の駅の防災拠点化等、災害時の迅速な緊急復旧活動を実施する防災拠点整備の推進

社会資本の戦略的な維持管理

- ・施設の長寿命化及びライフサイクルコストの低減を図るため、道路橋等の補修・補強や老朽化した水道施設等の生活関連施設の更新・改良を推進

国際的な環境対策・海洋資源保護の促進

- ・清掃船によるゴミ回収や住民による海岸の漂着ゴミ回収、海域における漂流ゴミ、海底ゴミの調査、監視の強化等の海ゴミ対策を推進
- ・松江市に設置されている黄砂観測装置等を活用した、黄砂モニタリングネットワークによる詳細な大気汚染現象解明の推進
- ・日本海におけるアカガレイ・ズワイガニの休漁期間等を定めた資源回復計画の実施等、資源管理を含めた自然環境の再生の推進
- ・日本海西部地域の排他経済水域における水産資源の生産力向上を図るため、保護育成礁を設置する等、沖合海域の漁場の整備を推進

健全な水循環系の構築など自然環境の保全と再生

- ・森林の水源涵養機能の維持・向上のため、保安林の現況調査や、新たな指定及び適正な解除に係る調査等、保安林等の適正な管理の推進
- ・中海、宍道湖や秋吉台地下水系のラムサール条約湿地等を生かしたエコツーリズムの推進
- ・中海、宍道湖やダム湖等の湖沼や、水辺の楽校プロジェクト等で整備された河川等を活用した、野鳥や水生生物の観察等の自然環境学習プログラムの推進
- ・藻場の再生やヨシ帯の整備等の健全な水循環系の構築の推進
- ・中国圏における自然の保全・再生のためのエコロジカルネットワーク構想の構築の推進

中国圏の人づくりプロジェクト

目的・コンセプト

地域の持続的な発展を支える多様な人材を確保するため、研究開発や新製品・新サービスの開発に携わる人材の確保・育成、大学等の高次教育・研究機能を活用した広域連携に基づく人材育成、地域を支える担い手の育成を推進する。また、次世代を担う子供の良好な育成環境づくりを図る。

具体的な取組内容

ものづくり産業等における高度な技術・技能を有する人材の育成

- ・ コンビナート製造現場中核人材育成事業等をモデルとした、産学官連携による中核人材育成カリキュラムの開発・実施の推進
- ・ ステンレス加工業の若手技術者養成等、高等専門学校や工業高校、地域の経済団体・企業、行政等でものづくり人材を育成するプログラムの開発・実施
- ・ 次世代産業分野における研究開発人材、サービス産業のイノベーションを担う人材等の育成の推進
- ・ 技術開発力を備えた高度産業人材を育成する先導的な研修プログラムを産学官連携体制で開発し、教育訓練機関や大学へ導入
- ・ 海事産業の集積する都市において、行政、海事関係者、地元経済界、教育機関等が連携し、海事関係の人材確保・育成や海事思想の啓発等総合的に推進

多様な人材を活かすための就職支援

- ・ 若年者や子育て女性の就業促進を図るため、就職支援センターによる就職相談、職業紹介等ワンストップサービスの提供や実践的な職業訓練実施を推進
- ・ 高年齢者のニーズに対応した職業訓練、豊かな知識・経験や技能・技術を生かした就業機会の確保、中小企業等との人材マッチングの促進

大学等の広域連携による人材育成

- ・ 各地の大学コンソーシアムの取組を継続、発展させることによる、大学等の単位互換や共同事業等の連携強化

地域を支える人材の育成

- ・ 道路や河川の清掃・緑化の取組等について、地域住民等の多様な主体の連携により社会基盤管理を推進
- ・ 中山間地域等を活動の場として、若年層の森林ボランティアの育成等、自然を通じた地域の活性化を支える人材育成の推進

子育て支援のための環境づくり

- ・地域のニーズや実情に応じた子育て支援のための環境づくりと関係者が連携した子育て支援体制づくりの推進
- ・学ぶ意欲や自立心、思いやりの心、規範意識等を育み、力強い子どもの成長を支える教育活動として、子供農山漁村交流プロジェクトを推進

日本海沿岸における北東アジアゲートウェイプロジェクト

日本海沿岸地域と北東アジア地域との地理的近接性や密接な交流の歴史的背景を活かし、中国圏の玄関口としてのゲートウェイ機能の強化を図るため以下の取組を実施

- ・官民の連携による経済・文化交流の深化
- ・交通基盤の整備、定期航路等の維持・充実
- ・拠点都市機能の整備・集積の推進

北東アジア地域との交流の促進

- ・見本市への出展支援や、現地での物産展、商談会の開催等により民間の貿易・経済交流を促進
- ・伝統文化、芸能団体を招致し、民間の親善交流・文化交流を推進

(事例) 環日本海経済活動促進協議会による民間主導の市場開拓の取組開始



東京など域外企業を含む100を超える企業団体が参加し、民間主導でロシア沿海地方への経済視察団の派遣や、商談会開催に取り組む。

(事例) ロシア貿易促進プロジェクト実行委員会の取組



浜田港を活用したロシア貿易を推進するため、商談会の開催や、ウラジオストクでの野菜等の販売会を開催。

日本海側における拠点都市機能の強化

- ・自立した拠点都市圏の形成に向けた官民による広域連携を強化
- ・国際・広域交流の拠点性確保に向け、国際交流拠点施設を活用した国際的なイベントや会議を随時開催

(事例) 中海市長会

鳥取県と島根県の県境にある中海を中心とした、米子市、境港市、松江市、安来市の4市で構成。

中海圏域の行政上の共通課題等について連絡調整を行い、圏域の総合的・一体的な発展の推進を図る。



北東アジア交流を支える交通基盤の強化

- ・経済交流や貿易を支える国際路線及び定期航路の維持・充実
- ・交通・物流拠点となる港湾・空港と圏域内外の各地域を連絡する高規格幹線道路ネットワーク整備を推進
- ・国際標準コンテナ車の通行支障区間の解消の推進

(事例) 浜田港 - ウラジオストク(ロシア) RORO船航路開設(H20.7月開設)

(事例) 境港 - 東海(韓国)・ウラジオストク(ロシア)新規フェリー航路(H21.4月就航予定)

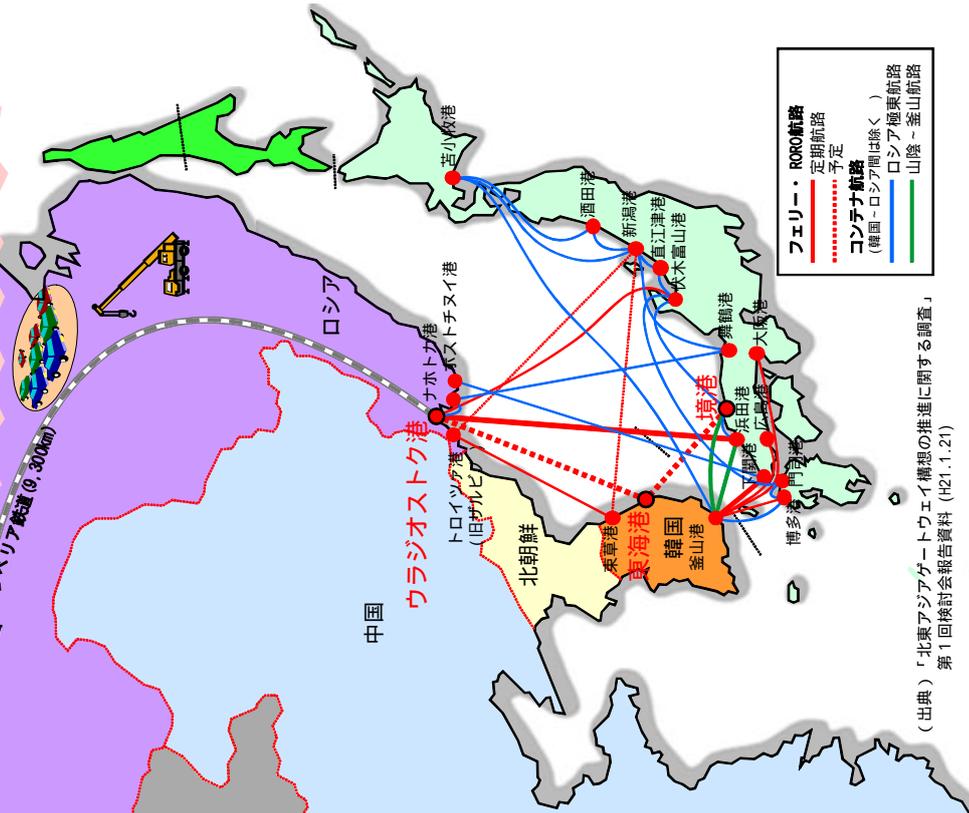
(イメージ) 境港・ウラジオストク航路の活用
A社は、釜山港経由でシベリア鉄道で部品を輸送している。B社も工場のあるサンクトペテルブルクまでの部品輸送を、海運からシベリア鉄道に切り替えることを検討中。輸送日数が大幅に短縮されるのが大きなメリット。

ロシア極東地域、欧州・モスクワ経済圏との貿易拡大のイメージ



北東アジアとの国際海上定期航路の状況

サンクトペテルブルク
モスクワ
シベリア鉄道(約3,000km)
リードタイム 海路(40数日)に比べ大幅短縮(10数日) 広島港の場合



(出典) 「北東アジアゲートウェイ構想の推進に関する調査」 第1回検討会報告資料(H21.1.21)

基幹的交通・情報通信ネットワーク整備プロジェクト

分散型の地域構造を活かして、産業の国際競争力強化、広域的な連携による観光の振興、都市と中山間地域等の交流・連携等や、国内外との交流・連携を促進するため以下の取組を実施
 総合交通体系の構築やシームレスなネットワーク形成の視点に立った交通ネットワークの整備・充実を推進
 産業・生活活動や、中山間地域等の交流・連携を支える情報通信ネットワークを整備

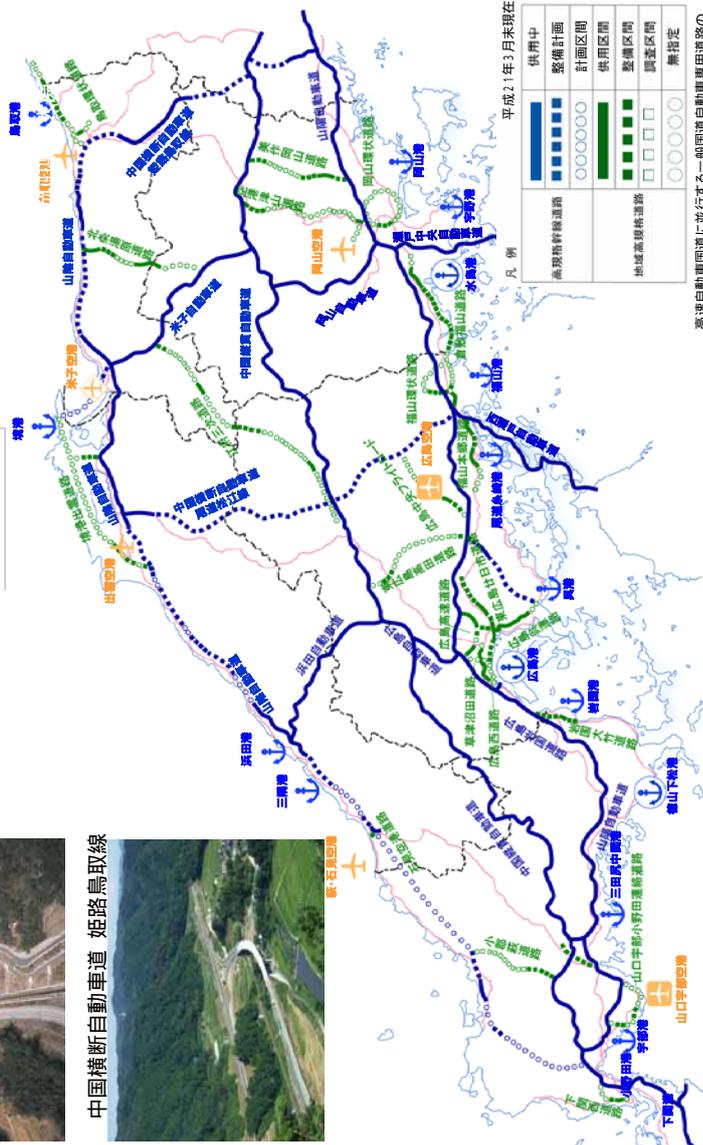
広域的な幹線道路ネットワークの整備と利活用

- ・高規格幹線道路や地域高規格道路等の山陰と山陽の連絡および山陰を東西に連絡する広域的な幹線道路ネットワークの整備の推進
- ・スマートインターチェンジの設置・利用の促進等により、基幹ネットワークの機能を確保
- ・各空港・港湾へのアクセス向上を推進
- ・「瀬戸内海しまなみ海道振興協議会」、「瀬戸大橋利用促進共同事業実行委員会」等他圏域と連携し、高速道路の利用促進に向けた取組を推進

中国横断自動車道 尾道松江線



中国横断自動車道 姫路鳥取線



高速自動車道に並行する一般道自動車専用道路の事業を含む

広域的な公共交通ネットワークの充実

- ・各空港の国内航空路線の利用促進に向け、航空路線の拡充等の取組を推進
- ・ユニバーサル社会に対応したフェリーターミナルの整備や、半島・島しょ地域等の産業・生活を支える地方港湾の整備を推進

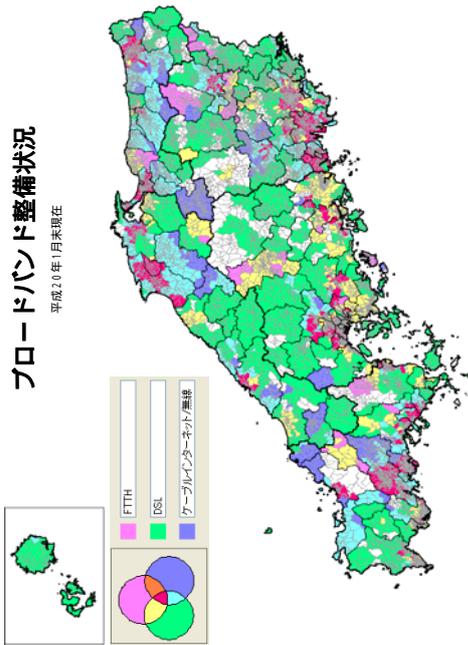
暮らしの多様化に対応した情報通信ネットワークの整備

- ・条件不利地域においてブロードバンド・ゼロ地域の解消や携帯電話の不感地帯の解消を推進

(現状)ブロードバンド整備状況

ブロードバンド整備状況

平成20年1月末現在



(事例)携帯電話不感地域解消

山口県では、全国的な高速・大容量の光ファイバ通信網(YSN)を整備運用しており、このYSNの利活用を積極的に認めることにより、携帯電話事業者の過疎地域等への進出が促進され、いわゆる不感地域の解消が進んでいる。

里地・里山・里海保全と農林水産業再生プロジェクト

中山間地域等の主産業ともいえる農林水産業の持続的発展のため以下の取組を実施
 地域の実情に即した担い手の育成やUJターンなどの農林水産業への新規就業を支援、生産・流通基盤の整備や維持保全
 農林水産業と製造業・商業・サービス業の一体的な支援による売れる農林水産物・加工品づくりやブランドの形成と地産地消
 農林水産業そのものを活用した農山漁村体験、グリーンツーリズム等や農林水産資源を活用したバイオマスエネルギー等、新たな産業の育成
 中山間地域等の多面的機能の維持・保全・再生

過疎・高齢化の進行等に対応した担い手の育成・確保

・農業生産法人、集落営農組織の設立や認定農業者への支援による地域の実態に即した担い手の育成・確保を実施するとともに、農用地の利用集積を図る
 ・農業への参入希望企業に対する情報提供、農地利用調整活動や農地の条件整備、施設整備等の支援を行い、農業外企業等の農業参入を促進

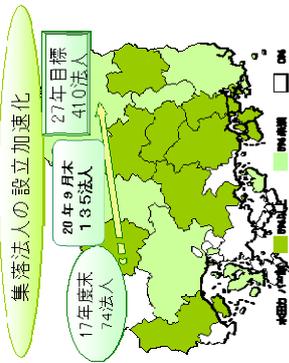
(事例) 建設業からの新分野への進出
 (有)隠岐潮風ファーム(島根県土佐町)



造園業のノウハウを活かし、農業生産法人を設立。公園等の管理業務で発生する刈草の飼料への有効利用、飼料にならない木材チップや剪定くずをサイケルし、土壌改良材等として販売。

(事例) 集落農場型農業生産法人等の担い手の育成

経営の規模拡大や高度化により効率的・安定的で持続可能な経営を行うことができるとともに、集落農場型農業生産法人等の担い手を中心とした力強い農業構造への転換により、産業として自立できる農業の確立を図る。



売れる農林水産物・加工品づくり

・直売所等の環境整備、地元産食材を使った飲食店の認定やイベントの開催等による地産地消の取組を推進
 ・科学的解析を利用した品質の数値化等の安全・安心のニーズに対応した品質管理の認定制度の整備やシンボルマークの商標登録等、地域ブランド形成を推進
 ・農林水産業と商工業等におけるニーズ・シーズのマッチング支援等により、加工技術や高付加価値食品等の開発、販路開拓を推進

(事例) かきのき村

消費地である広島県廿日市市に産直市を設置し、柿木村で採れた野菜、米農産加工品などを販売している。



(事例) 集約が困難な小規模な耕作地における高付加価値農作物の生産

棚田で手間をかけた伝統的な自然農法等により、全国食味分析鑑定コンクール金賞受賞。



(事例) 地元農産品を活用した「高付加価値型介護食品」の開発及び販売

食品メーカーと業者との連携により、安心安全な地元農産品で、高付加価値型介護食品の開発及び販売に取組む。

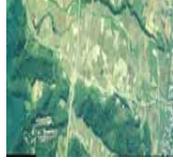


高温低温真空調理システム

生産性向上に資する生産基盤の整備と経営高度化

・農地・農業用排水路及びため池等の整備により生産基盤の整備を推進し、優良農地を確保
 ・国産材の有効利用に資する、曲材や低質材を含めた集出荷体制の整備や林地から製材市場等に至る合意形成による木材価格の安定化・需要拡大を促進
 ・水産資源の生産力向上のため、瀬戸内海における藻場・干潟造成等の環境保全技術の研究開発や漁場環境の改善を多様な主体により推進

(事例) 将来の農業生産を担う効率的かつ安定的な農業経営体の育成を図るため、生産基盤の整備を推進する。山口県「伊上地区」。



整備前



整備後

(事例) 東備地区広域漁場整備事業
 東備地区広域漁場整備事業イメージ図
 ～アマモ場の再生を促した総合的な漁場整備～



日生町漁協は備前市、岡山県と協力し、カキ殻の散布、底質改良材の散布、アマモ種子の保存、土のう式播種マットの敷設などにより、アマモ場の再生を核とした総合的な漁場整備に取り組んでいる。

農山漁村の地域資源を活用した交流及び新たな産業振興の促進

・農山漁村体験、子供達の教育旅行、朝市めぐり等、体験型・滞在型ツーリズムにより都市部からの集客を促進
 ・地域に豊富に存在する木質バイオマスなどの資源を活用システムを構築するバイオマススタックン構想策定及び構想に基づく施設整備を推進

(事例) 岡山県真庭市 銘建工業株式会社

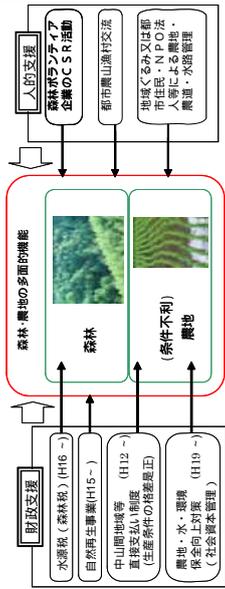
1日あたり140t発生する木質資源を、廃棄物とせず木質バイオマス資源として有効に利活用し、エコ発電力は本社工場等に使用して、夜間主体の余剰電力を売電。
 木質ペレット燃料は3台のペレット造粒機で年間15,000tを製造して全国販売。



森林・農地の多面的機能の維持・保全・再生

・耕作放棄地解消に向けて、農地としての利用を基本に営農再開に向けた取組への支援や資源作物の導入等の取組を推進
 ・企業の社会貢献活動の誘導・支援や、森林環境税等の活用により、森林や農地をはじめとする中山間地域等の持つ公益的機能の保全を推進

多面的機能の維持方策



地場産業を創出する地域資源活用プロジェクト

中山間地域等を中心とした地域経済の持続性を維持するため以下の取組を実施
 中国固有の優位性のある地域資源を活用した新商品・新事業の開発支援
 地域性や物語性のある商品開発による地域ブランド化の形成と販売促進

地域が一体となった推進・支援体制の整備

- ・真庭地域における、木質資源を活用した事業化に向けた、事業推進の主体となる組織・体制・人材の整備及び育成を支援

産学官連携や商業・サービス業の専門家を活用した新商品・新事業開発支援

- ・地元資源を活用した機能性食品産業化等、各地の産学官組織との有機的な連携のもと、ものづくり産業等企業との連携による新製品・新事業開発を促進
- ・海産物におけるマーケティング等、専門家の支援による効果的な商品開発を促進

地域資源

- (1) 地域の特産物として相当程度認識されている農林水産物または鉱工業品
- (2) 特産物となる鉱工業品の生産にかかわる技術
- (3) 地域の観光資源として相当程度認識されているもの

情報発信
事業化
ブランド化

地域の強みを活かした付加価値の高い産業の創出・育成

(事例) 和紙の加工技術による照明器具の商品化

青谷和紙(株)(鳥取県鳥取市)では世界で初めて確立した「立体和紙抄紙」技術を活かし、縦き目がなく均一に漉かれた自由曲線を持つランプシェードを開発。この技術を更に発展させ、現在のライフスタイルにとけ込む新たな照明器具を商品化し、販路拡大に取り組み。
 (活用する地域資源: 因州和紙)



(事例) 筆製造技術を活用した化粧ブラシの商品化

(有) 竹田ブラン製作所(広島県熊野町)では、「いつでもどこでも利用できる利便性」「安心・安全・衛生的」をコンセプトにした携帯用化粧ブラシの改良と販路拡大に取り組み。(活用する地域資源: 熊野筆を製造する技術)



地域資源をまとめた効果的なブランド形成と販売促進

- ・各地域産品の関係企業や団体の連携により、地域資源をまとめたブランド化を推進
- ・地域団体商標制度を活用して、地域の特産品等に産地の地域名を付した商標の出願・権利化を推進

(事例) 島しょ部の海産物のブランド化

(株)ふいさと海士(島根県海士町)では、マーケティング調査等を行い、既存商品の改良、隠岐・海士町の歴史背景を考慮した地域性・物語性のあるパッケージングの改善や新たな加工商品の開発を進め、隠岐・海士町ならではの本物の素材と味をまるごとお届けする思いを込めた「隠岐・海士 島風便」ブランドの確立を目指す。
 (活用する地域資源: ケンサキイカ、隠岐のいわがき、海士のいわがき「春香」)



(事例) 中山間地の風景・生活の体験プログラム事業化

美咲ファイネスト(株)(岡山県美咲町)では、棚田の風景や農作業など、都市生活者が求める「癒し」体験プログラムや法人向けの人材研修、福利厚生プログラム等の事業化を目指す。
 (活用する地域資源: 棚田)



(事例) 「萩の竹」を活用した竹製高級家具の商品化

TAKE Create HagI株式会社(山口県萩市)では、古くから品質の良い竹として有名な「萩の竹」の硬く粘りがあるという特性を活かすとともに、フィンランドの世界的な家具メーカーであるアルテック社と連携し、竹製高級家具を開発。海外市場も視野に入れた販路開拓に取り組み。
 (活用する地域資源: 萩の竹)



高齢化の進む中山間地域・島しょ部の暮らし安心プロジェクト

中国圏は全国に先行して人口減少・高齢化が進み、小規模な集落が広く分布する中山間地域等で集落機能の低下が進展しており、これら機能の維持・確保を図るため以下の取組を実施

生活サービスの利便性を向上させるワンストップ型の生活拠点の整備と交通機能の確保等による拠点や集落のネットワーク化の推進

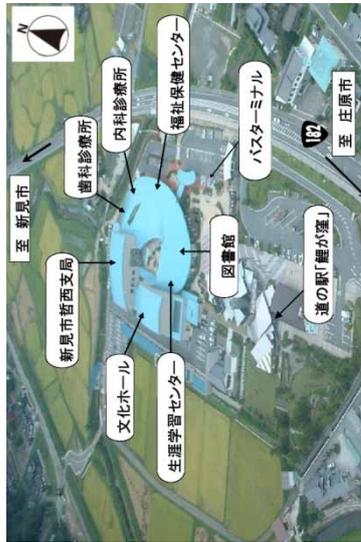
暮らしを支える生活基盤の充実や共助の仕組み作りを通じた集落コミュニティの強化・再構築

都市住民のふるさと回帰を促進

中山間地域等を支える一次生活拠点機能の充実

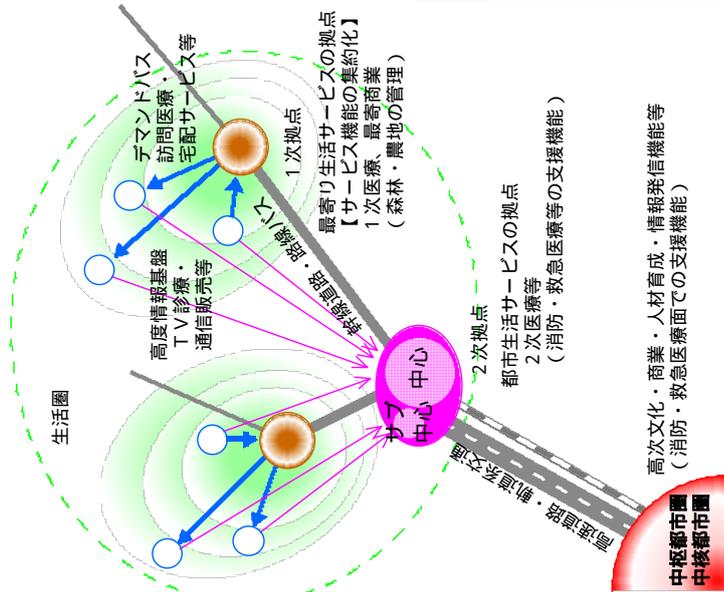
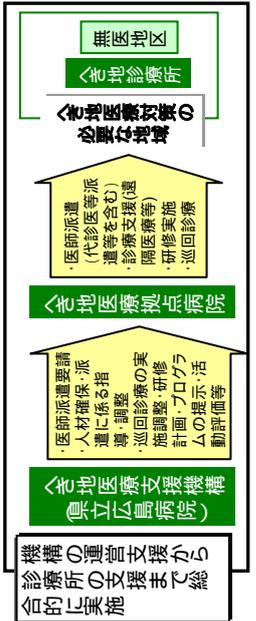
- ・診療所等の生活サービス機能や行政施設を一体化・集約化するワンストップ拠点の構築を推進
- ・多数の集落を総合的に支援・マネジメントし、集落機能維持と一次拠点機能を補完する、集落支援員や地域マネージャーの活用等の支援組織の構築を推進

(事例)「サービス機能集約化」
～さらめき広場、哲西(岡山県新見市)



医療・福祉ネットワークの充実

- ・へき地診療所への医師派遣、研修の実施、へき地医療拠点病院と診療所の連携体制の構築等、総合的な地域医療支援を推進



地域の実情に応じた交通機能の確保と情報通信環境の充実

- ・コミュニティバスや乗合タクシーの導入・再編、離島航路の維持等、地域のニーズに応じた公共交通の活性化・再生の取組を促進
- ・山間地等条件不利地域における、ブロードバンド、ゼロ地域の解消等の情報通信環境の充実を推進



集落コミュニティの強化・再構築による共助の仕組みづくり

- ・集落型NPOの構築や複数の集落で地域自治活動を行う住民組織の設置による集落コミュニティの再構築や大学生の里山レンジャーによる地域住民と外部住民の協働による地域づくり活動を促進
- ・地域住民や地域企業等が主体となった独居老人等の見守りネットワークを構築するため、地域住民への見守り活動の周知及び体制整備

都市住民のふるさと回帰と二地域居住

- ・都市部へのアクセスの良さや中国地方の多様な自然や風土を生かした空家対策事業の推進や交流・体験モデルツアー等の交流・定住促進の推進

(事例)瀬戸内海の島しょ部の温暖な気候を活かした「島暮らし」岡山県笠岡諸島では、NPOかさおか島づくり海社が様々な島づくり活動を行っており、その一環として、瀬戸内海の温暖な気候や都市部へのアクセスの良さを活かして、平成14年に空家対策事業をスタートさせ平成19年10月現在21世帯46人の1ターナー者を島に受けいれている。



5県連携による中山間地域等の暮らし安心向上を目指した調査研究の推進

- ・「島根県中山間地域研究センター」を事務局とした中国地方中山間地域振興協議会において、地域運営プログラムの開発等、現行研究テーマの発展を中心に実践的な研究等を推進



島根県
中山間地域研究センター

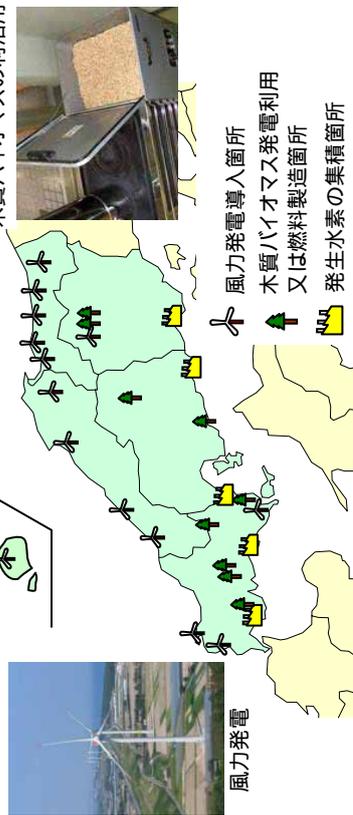
中国圏の未利用資源を活用した低炭素・循環型地域づくりプロジェクト

中国圏のポテンシャルを活かし、地球温暖化対策としての温室効果ガスの削減を一層推進するとともに、省資源・省エネルギー社会の実現に向け、以下の取組を実施
 森林資源等を活用した新エネルギーの導入やコンビナート等の産業特性を活かしたエネルギー利用を推進するほか、原子力発電について安全性を確保しつつ推進す
 るなどエネルギー源の多様化・分散化を推進
 低炭素・循環型の地域づくりを目指し、省エネルギーや環境負荷の小さい都市・地域構造の実現に向けた取組を推進

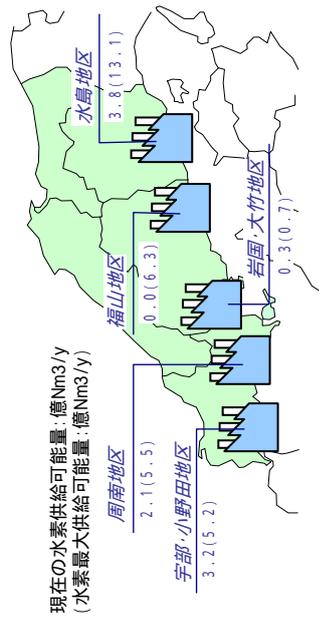
自然・産業資源等の活用によるエネルギー源の多様化・分散化の推進

- ・山陰沿岸等の風況を生かした風力発電や日照時間の長い瀬戸内海側等での太陽光発電の推進
- ・廃食用油によるバイオディーゼル燃料の製造や木質バイオマスによる発電等のバイオマスの有効活用を市民・事業者・行政が一体となって推進
- ・コンビナートにおける石油精製等の副生水素の供給ポテンシャルを生かして、近畿や九州等とも連携を取りながら水素インフラ整備等の取組を促進

新エネルギーの利活用箇所



(事例) 西日本水素社会形成イニシアティブ
 水素エネルギー社会形成に向けて、中国地域のコンビナートの水素製造ポテンシャルを活用し、技術開発、実証活動等を進めていくとともに、制度的課題の解決のため、スーパーテクノパーク特区の活用も視野に入れ、近畿や九州などの近接地域とも連携を取りながら、水素インフラ整備等のプロジェクトを推進する。



基礎素材産業を活用したリサイクル産業化による資源の有効活用

- ・瀬戸内海沿岸の基礎素材産業をリサイクル拠点としても活用するために、瀬戸内静脈物流による広域リサイクルシステムを構築



本図は、瀬戸内静脈物流事業化推進協議会において検討されている静脈物流ネットワークを図示したものに、既にリサイクルポートに指定された港湾や川内各港の積み卸しで想定される廃棄物を追記したものです。

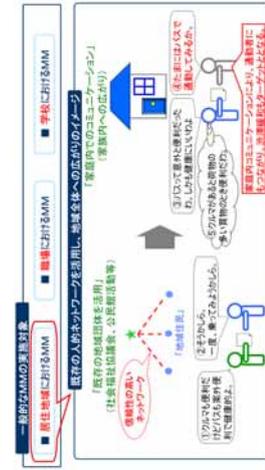
環境負荷低減型の地域づくり

- ・市民・事業者・行政が一体となってゴミの発生を抑制する取組や環境に対する意識の啓発等、ゼロエミッションに向けた取組を推進
- ・公共交通利用促進等モビリティマネジメントを推進

(事例) 水島コンビナートにおけるエコ通勤
 従業員の9割が車で通勤するコンビナート企業と行政・交通機関事業者により協議会を発足させ、バスの運行や自転車貸出などの実証活動等を推進



- (事例) 広島都市圏モビリティマネジメントの取組
 住宅団地を対象としたバス利用促進のため、バスマップ・時刻表などを配布し、公共交通への利用転換を促進



低炭素 循環型社会に向けた調査・研究の推進

- ・カーボンオフセットを組み込んだツアーやイベントの開催や、ポテンシャルを生かした圏域内CO2排出権取引の試行的な実施

瀬戸内海の保全・活用プロジェクト

多様な魅力を有する瀬戸内海を保全しつつ、活用を図るため以下の取組を実施

- ・瀬戸内海を基軸とした近畿・四国・九州圏との広域連携を強化
- ・失われた干潟、藻場の再生や災害等により荒廃した山の修復等の環境創造
- ・瀬戸内海の景観、歴史、文化、食、街並み等を活用して国際観光にも資する魅力発信や瀬戸内海ブランドの構築
- ・地形の制約等により不利な条件に置かれている離島地域等の振興

瀬戸内海の魅力を守り、伝える体制の強化

- ・瀬戸内海を「里海」として再生していくため、「瀬戸内海里海委員会」等の新たな広域的な連携体制を形成

協働による瀬戸内海の環境保全と創造

- ・「瀬戸内海ごみ対策検討会」による漂流・漂着・海底ごみの広域的な処理の検討及び事業の実施
- ・「リフレッシュ瀬戸内」活動等、住民等多様な主体との協働による河川流域及び海域や自然公園を含めた環境美化・清掃活動の実施

(事例) 河川118水系と海岸370箇所、15万人の市民参加による「瀬戸内 川と海のクリーンアップ大作戦」を実施



瀬戸内 川と海のクリーンアップ大作戦

(事例) 市民ボランティアによる清掃活動「リフレッシュ瀬戸内」の拡充及び啓蒙活動



リフレッシュ瀬戸内

瀬戸内海の魅力を活かす離島地域等の振興

- ・笠岡諸島の離島ツアーや島暮らし体験、「瀬戸内しまなみ大学」の体験学習等を通じて、二地域居住やU・I・Jターンにもつながる都市住民等との交流を促進
- ・旅客ターミナルの整備や情報提供施設の整備により魅力ある総合的な港づくりによって地域活性化を促進

(事例) ぶらっと(PLAT!)尾道計画

尾道系崎港及び瀬戸田港において、旅客ターミナルの整備や情報提供施設の整備を進め、みなとの拠点機能の強化を行うことにより、観光拠点を中心に地域住民や訪問者の交流を促進

瀬戸内海の交流促進とブランドの構築

- ・瀬戸内海クルーズ観光や瀬戸内海スロースリズムを振興するため、東アジア地域等の旅行会社やメディアを対象に体験・視察ツアーを実施
- ・伝統芸能や現代アートを通じて瀬戸の島々をネットワーク化する
- ・「瀬戸内国際芸術祭」等の新たな瀬戸内海ブランドを構築するため、多様な主体の連携による情報発信を推進

(事例) 瀬戸内国際芸術祭



2010年に、瀬戸内海の7つの島(直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島)と高松を会場として、島々の歴史や文化を活かした現代アートの祭典を開催予定。

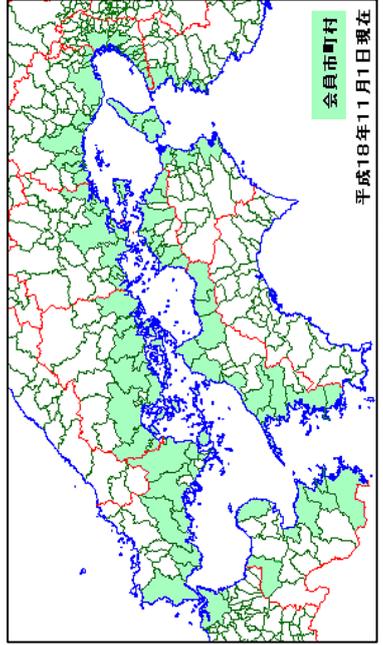
精錬所 (岡山県犬島)

(事例) 航路情報提供サイト「みなとナビせとうち」の拡充



(事例) 瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会

瀬戸内海沿岸に位置する各市町村が一堂に会し、新たな文化の創造、観光、レクリエーションの振興と発展を図ることを目的に平成3年に設立。以降これまで「リフレッシュ瀬戸内」や「みなとナビせとうち」等様々な活動を実施。



会員市町村

平成18年11月1日現在

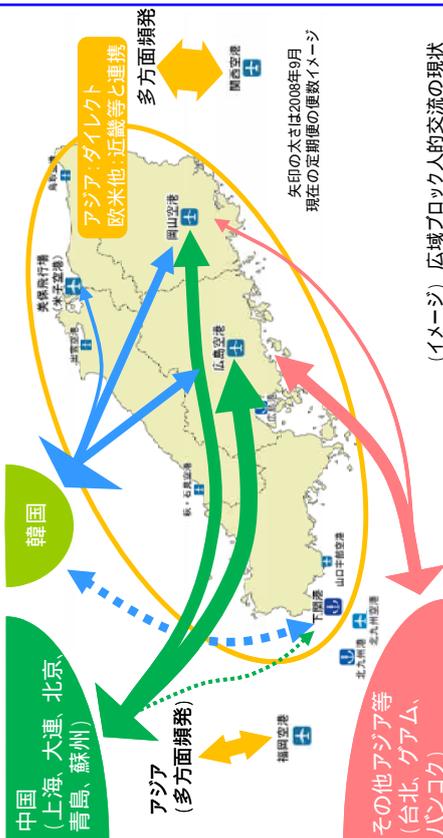
瀬戸内海沿岸域107の市町村、11府県が加入

東アジア等との国際交流推進プロジェクト

東アジアとの広域ブロックにおける人的交流のゲートウェイを形成するため以下の取組を実施
 近畿圏・九州圏等との機能連携を図りつつ、港湾や空港の機能の強化や高速交通基盤の整備、充実を推進
 中国圏の特性を活かして平和・医療支援・災害復興・環境・人材育成等の分野での国際貢献の拡大

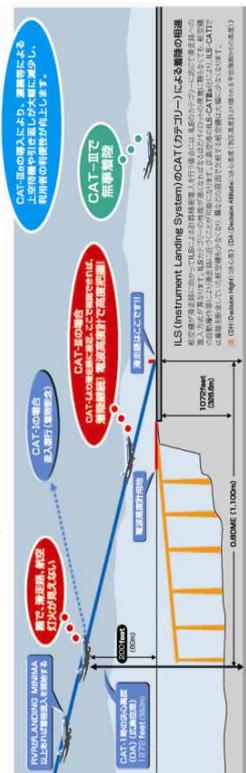
人的交流のゲートウェイ形成に向けた国際交通機能の強化

- ・広島空港、岡山空港、米子空港において、国際航空路線の拡充・充実やC/Q体制の充実、アクセス交通の強化を推進
- ・下関港、広島港等において釜山航路等の国際フェリー・貨客航路を拡充



（事例）広島空港のILS（計器着陸装置）の高カテゴリー化

CAT-1aは滑走路上の視距離が200m以上あれば、オートパイロット（自動操縦）により着陸可能となります。



中国圏における多文化共生社会の構築

- ・外国人受け入れ環境の整備に向け、外国人居住者を対象とする調査・研究や情報発信を推進
- ・中華人民共和国やブラジル連邦共和国等の総領事館等の誘致を促進

官民が一体となった経済・文化国際交流の推進

- ・東アジア地域との国際見本市・商談会の開催・参加を通じて、地理的近接性や密接な交流の歴史の深化を図る
- ・「広島国際アニメーションフェスティバル」や「世界スカウトジャンボリー」等の国際イベントを開催・誘致

（事例）広島国際アニメーションフェスティバルの開催
 世界4大アニメフェスティバルの一つとして、愛と平和をテーマに2年に1度開催される国際イベント。1985年に始まり、アニメ作家の登壇門として世界的に高い評価を受けている。



（事例）東アジア経済交流推進機構の取組
 日中韓の3カ国10都市が連携して環黄海経済圏の発展に向けた都市連携、経済交流を推進
 （2004年11月設立）



世界平和等の国際貢献の推進

- ・国際医療協力の推進等により、世界の平和と安定に貢献
- ・国際救援物資の備蓄や海外の災害等へのNGO等と連携した復旧・復興支援を推進

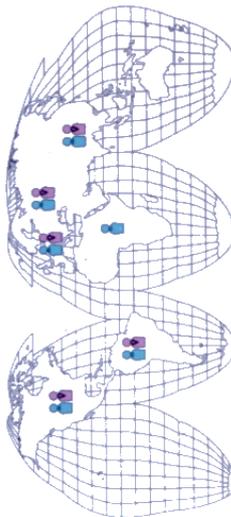
（事例）岡山空港内「救援物資備蓄センター」

海外で大規模な災害が発生した際に、国際救援活動を行うNGO等を支援できるように「救援物資備蓄センター」を設置



（事例）放射線被爆者医療国際協力推進協議会による医師の受入・派遣

広島が有する放射線被爆者治療の蓄積を活かして世界に貢献するため、海外への医師の派遣や受入研修などを実施（1991年設立）



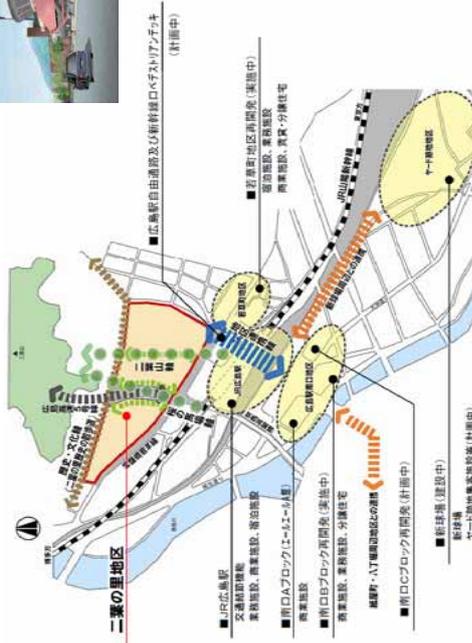
分散型地域構造に応じた集約型都市整備プロジェクト

都市が多様な自然に近接し、適度な密度で分散している地域特性を活かした都市の生活スタイルを確立するため以下の取組を実施
 中心市街地における既存ストックを活用した市街地整備や、地域資源を活用したまちづくりの推進
 地域特性に応じた施設整備による快適な生活環境の形成

自立的発展の拠点となる中枢核都市の整備

- ・高次都市機能の集積を図るため、低・未利用地等の活用や既存市街地の再生による拠点整備を推進
- ・集約型都市構造に向けて、都心居住の実現、鉄道駅等の交通結節点の整備や公共交通システムの高度化を推進

(事例)低未利用地等の活用や既存市街地の再整備による
 拠点整備や都心居住「広島駅周辺の再開発」(広島市)



野球場を核としたスポーツ拠点の形成

(事例)LRVの導入等による公共交通
 システムの高度化 (岡山市)



(事例)医療施設を核とした既存市街地の再整備による拠点整備や都心居住(島根県松江市)



既存市街地内の病院の増地建替による
 三次医療機能の確保・充実



水辺を活用した交流、賑わい空間の創出



水辺を活用した交流、賑わい空間の創出

生活圏の中心となる中小都市の整備

- ・基礎的な医療、福祉、教育、文化、消費等の日常生活に必要な生活関連サービスの維持・充実を図るため、中心市街地における街なか居住や病院、福祉施設、学校等の公共・公益施設の街なか立地を推進
- ・都市機能の回復を図るため、道路等の公共施設整備や老朽建築物の除却と共同建替、公営住宅等の整備等を行うとともに、統一感のある街なみ整備を推進

(事例)低・未利用地等を活用した公共・
 公益施設の街なか立地
 (広島県府中市)



大規模工場跡地への統合小中学校の
 整備、歩道の整備、自由通路等の駅周
 辺整備など、さらなる都市機能の集積
 を図る

(事例)統一感のある街なみ整備による
 都市機能の回復
 (山口県宇部市)



道路等の公共施設整備や老朽建築物
 の除却と共同建替、市営住宅の整備
 等を行うとともに、整備に際し統一感
 のある街なみデザインを採用

既存ストックを生かした都市再生

・既存市街地を地域内外の人々にとって魅力ある地域として再生す
 るため、既存ストックや空閑地を利用した修復型の都市再生を推進



(事例)開鎖された工場を住民主体
 で設立した株式会社が地域活性化
 の場として再生(鳥取県鳥取市)



(事例)寄付を受けた伝統的建物を活用し、
 地域住民と来訪者との交流の場として再生
 (山口県萩市)

中国圏のサービス産業育成プロジェクト

サービス産業の生産性の向上・イノベーションの促進やソフトウェアやデザイン、コンテンツ等の特徴あるサービス産業の集積強化を図るため以下の取組を実施
 サービス産業の集積拠点の整備、企業間の連携、交流の促進、人材育成等の推進
 地域の関係主体が連携した生活支援サービス業の創出支援

サービス産業の生産性向上・イノベーションの促進

- ・ものづくり産業が有する卓越した製造管理ノウハウの適用事例やICTの活用事例等を発掘し、普及を推進
- ・中国圏における映画やアニメーション等のコンテンツを活用した地域活性化の支援及びそれらのコンテンツ産業の育成を推進
- ・ICT技術開発プロジェクトのように、デジタルコンテンツ系の産業を創出するため、関係機器の開発・製造やコンテンツ制作者人材育成を推進

(事例)ものづくり産業のノウハウを活用した生産性の向上
 医療法人社団 いでした内科・神経内科クリニック (広島県)



トヨタ生産方式を導入。「来院・受付から会計・帰院まで60分」という目標を掲げ、徹底したムダ取りにはじまる業務プロセスの改善や効率化を実施。これにより60分以内で診察が終了した患者の割合が2年間で38%から85%に改善

トヨタ方式で改善したナースステーション

(事例)産学連携によるイノベーション (株)アスカネット (広島県)

レイアウト用ソフトを無料配布し、顧客がオリジナルでデザインすることで、ニーズに対応しつつコストを削減。さらに、IT技術の活用による生産性を向上と産学連携によるイノベーションにより、市販の写真集と同等の品質を確保しつつ、低価格を実現し、ビジネスとして成立しなかった個人向け写真集を、冊単位で制作することを可能とし、高い顧客満足度を得ている。



アルバム制作例

(事例)ICT技術開発プロジェクト(島根県)

バーチャルリアリティに関する技術を開発し、当該技術を県内企業に移転し、(ハード)製造・(ソフト)制作体制を整備して、新事業を創出



産業支援サービス業の集積強化

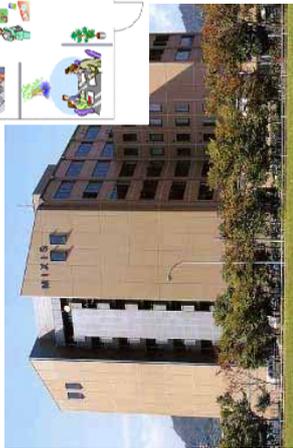
- ・企業の競争力向上を支援する産業支援サービス業の集積拠点の形成を推進
- ・地域振興の取組等と連携して、国際会議等の実施等について、全国に対する情報発信や企業間交流・連携を促進

(事例)産業支援サービス業拠点施設の整備

産業支援サービス業(ICT関連、デザイン、コンサルタント等)の振興を図るため、産業支援サービス業の集積拠点を整備し、貸オフィスを提供するとともに、相談指導、販路開拓等の支援を実施



(イメージ図)



中学生Ruby教室 (松江市開催)



(事例)ソフト系IT産業の振興

島根発のプログラミング言語Rubyの普及と発展を目的に、Rubyの資格認定試験や、ビジネス利用に向けた関連プロジェクトを実施。さらに、社会人から小学生と幅広い人材育成により県内のソフト系IT企業の事業拡大を支援

生活支援サービス業の創出

- ・介護・福祉、まちづくり、子育て支援等、地域の社会的課題の解決を手掛けるコミュニティビジネスを支援するため、多様な主体から構成される協議会組織の活動を推進

(事例)高齢者介護予防サービス(ガンパルレーン体操) (NPO法人コーチズ(広島県広島市))

高齢者の介護予防体操(ゴムボールを利用した「ガンパルレーン体操」)等を開発し、指導者の養成や運動教室等のサービスを提供

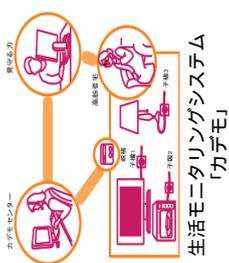


緊急通報生活サポートシステム「サスケ」

(事例)緊急通報と生活モニタリングで安心・安全サービスを提供 (周南マリコム(株))

ITと無線技術を活用して、緊急通報システム「サスケ」と生活モニタリングシステム「カデモ」により、高齢者や健康に不安のある方への福祉サービスを提供

(事例)緊急通報と生活モニタリングで安心・安全サービスを提供 (周南マリコム(株))

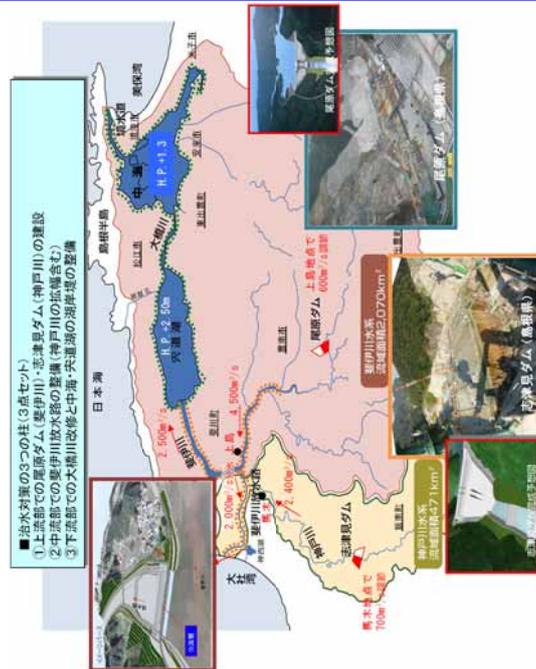


美しく強靱な中国圏域づくりプロジェクト

生活や経済活動におけるリスクマネジメントを進めつつ、多彩な自然環境の保全と再生を図るため流域圏や沿岸域における災害対策、治水対策や、都市型水害対策、防災拠点施設の強化、災害時の緊急輸送ネットワークの確立・強化、施設の老朽化対策等、既存の社会インフラの戦略的な維持管理を推進し、情報通信技術を活用した防災体制の確立等の地域防災力の向上
 日本海の水質浄化、枯渇が懸念される海洋資源保護、黄砂等の大気汚染への対策等の推進
 森林の水涵養機能も含めた健全な水循環系の構築や閉鎖性水域の水質浄化、森林保全等の推進

治水・土砂・高潮・侵食対策の推進

・河川流域圏における総合的な治水対策や、河川改修、河川・海岸高潮対策及び沿岸侵食対策の推進
 (事例) 斐伊川・神戸川治水対策



防災生活圏の強化

・河川防災ステーションや道の駅の防災拠点化等、災害時の迅速な緊急復旧活動を実施する防災拠点整備の推進
 ・多様な手段を活用した情報通信システムの整備や防災情報システムのネットワーク化等の情報共有の推進

(事例) しまね防災ポータルサイト

気象注意報、水雨雨量、河川防災、土砂災害、消防防災などの防災情報を一元化するともに、交通機関やライフライン情報も併せて掲載。

社会資本・建築物等の耐震性強化

・高規格幹線道路や一般国道などの緊急輸送道路の橋梁耐震対策等、大規模災害時・緊急時に対応可能な社会資本の強化や建築物の耐震化による地震に強い地域づくりの推進
 (事例) 鳥取西部地震による岸壁の被災状況 (事例) 橋梁の耐震補強状況 (一般国道2号日市高架橋)



健全な水循環系の構築など自然環境の保全と再生

・藻場の再生やヨシ帯の整備等の健全な水循環系の構築の推進

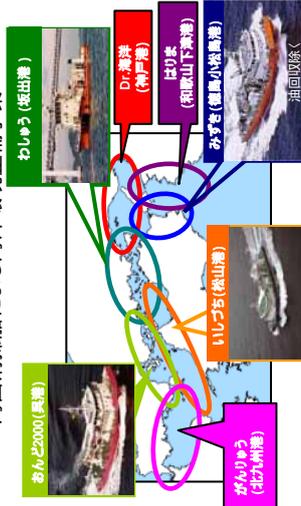
(事例) 宍道湖・中海の水質保全
 宍道湖・中海湖沼水質保全計画にもとづく宍道湖・中海水質保全事業や、水質浄化事業などにより、宍道湖・中海の環境保全を進めている。

(事例) 芦田川河川浄化施設
 沈水植物や抽水植物による支流などからの流入負荷を削減するとともに、浅場など健全な水辺環境の創出により、下流域の水質浄化、水環境改善に資することを目的としている。

国際的な環境対策・海洋資源保護の促進

・清掃船によるゴミ回収や住民による海岸の漂着ゴミ回収、海域における漂流ゴミ、海底ゴミの調査、監視の強化等の海ゴミ対策を推進
 ・日本海西部地域の排他経済水域における水産資源の生産力向上を図るため、保護育成礁を設置する等、沖合海域の漁場の整備を推進

海面清掃船による海洋環境整備事業



(事例) 日本海・黄海沿岸の海辺の埋没・漂着物調査
 1996年から日本、韓国、中国及びロシアの日本海沿岸地域の地方自治体やNGOの参加により、海辺の埋没・漂着物の調査を実施している。



中国圏の人づくりプロジェクト

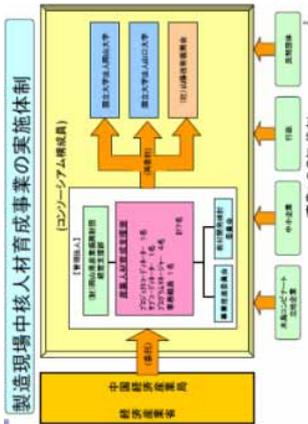
地域の持続的な発展を支える多様な人材を確保するため以下の取組を実施
 産業活動を支える研究開発や新製品・新サービスの開発に携わる人材の確保・育成、大学等の高次教育・研究機能を活用した広域連携に基づく人材育成
 地域を支える担い手の育成の推進

ものづくり産業における高度な技術・技能を有する人材の育成

・コンピナート製造現場中核人材育成事業等をモデルとした、産学官連携による中核人材育成カリキュラムの開発・実施の推進
 ・ステンレス加工工業の若手技術者養成等、高等専門学校や工業高校、地域の経済団体・企業、行政等でのものづくり人材を育成するプログラムの開発・実施

(事例) コンピナート製造現場中核人材育成事業

製造現場の中核人材を育成するカリキュラムを開発し、平成19年度から5コース21科目の講義を行っている。



ステンレス加工
の実習

岡山県津山地域では、「つやま新産業創出機構」をH8年に設立し、約70社立地しているステンレス加工工業の次世代を担う若手技術者の養成を目的とした教育プログラムを、津山高専を中心とした産学官の連携により進めている。

多様な人材を活かすための就職支援

・若年者や子育て女性の就業促進を図るため、就職支援センターによる就職相談、職業紹介等ワンストップサービスの提供や実践的な職業訓練実施を推進

地域を支える人材の育成

・道路や河川の清掃・緑化の取組等について、地域住民等の多様な主体の連携により社会基盤管理を推進
 ・中山間地域等を活動の場として、若年層からの森林ボランティアの育成等の自然を通じた地域の活性化を支える人材育成の推進

(事例) 地域住民による社会基盤の管理水

辺E N組プログラム: 江の川、高津川
 河川の一学区間について、住民団体、河川愛護団体、NPO、企業等の自発的な河川ボランティアを募集し、美しい河川環境づくりを実施。

(事例) 森林ボランティア育成講座

松江市のNPO法人もりふれ倶楽部では、「里山自然塾」、「里山子ども自然塾」を実施しているほか、島根県内各地で、実践的森林ボランティア活動をしたり、仲間を増やすために、森林ボランティア養成講座を開いている。



大学の広域連携による人材育成

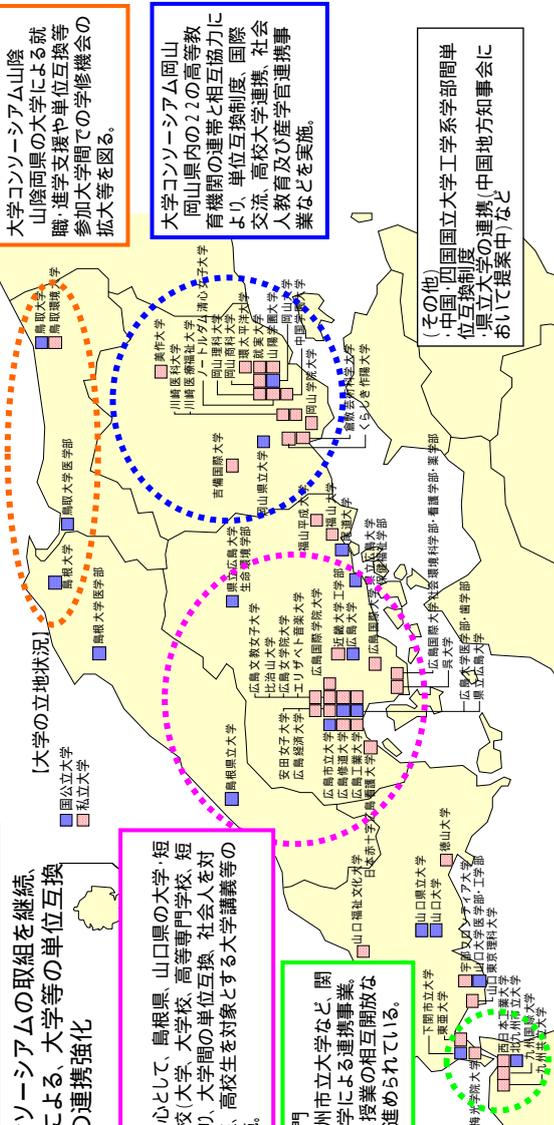
・各地の大学コンソーシアムの取組を継続、発展させることによる、大学等の単位互換や共同事業等の連携強化

教育ネットワーク中国

広島県内の大学を中心として、島根県、山口県、大学・短大を含む国公立27校(大学、大学校、高等専門学校、短期大学)等の連携により、大学間の単位互換、社会人を対象とする生涯学習講座、高校生を対象とする大学講義等の提供などの活動を実施。

大学コンソーシアム関門

下関市立大学、北九州市立大学など、関門地区に立地する6大学による連携事業、共同事業や公開講座、授業の相互開放などをを行う方向で検討が進められている。



子育て支援のための環境づくり

・子育て支援のための環境づくりと関係者が連携した子育て支援体制づくりの推進
 ・子供農山漁村交流プロジェクトを推進

(事例) 地域子育て支援拠点事業(センター型)の事例(岡山県倉敷市)

小ざくら地域子育て支援センターは、一時保育事業、子育て支援センター事業、ふれあい子育て支援事業の3つの事業を柱として子育て支援を行っている。

(事例) 隠岐自然体験島

隠岐の島町(都万地区)では、平成13年から小学生を対象とした1週間程度(平成20年度は4泊5日)の田舎暮らし体験を実施している。

